

申し込み方法

電話・FAX・E-Mailにより申し込むことができます。

お申込みの際には、必ず、以下の必要事項をご記入、またはご連絡ください。

【必要事項】 ① 氏名（フリガナ） ② 学校名 ③ 連絡先（TEL, FAX, E-Mail など）

【申込先】 山陽小野田市立山口東京理科大学 大学事務部 地域連携室

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1

TEL : 0836-88-4515 FAX : 0836-88-3510 E-Mail : tiiki@admin.socu.ac.jp

【申込締切】 平成30年12月10日（月）

アクセス



ACCESS



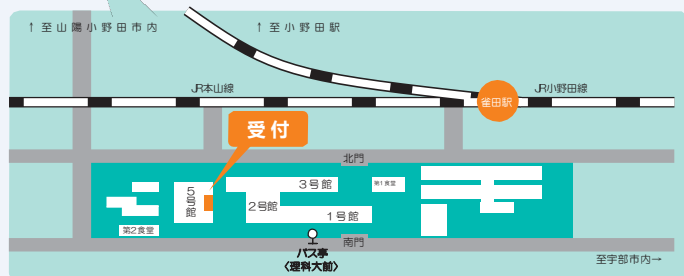
JR小野田線
「雀田駅」下車徒歩5分



JR小野田駅より 船鉄
バスで約20分



山陽自動車道 小野田I.C.
から約20分



お問い合わせ

山陽小野田市立山口東京理科大学
大学事務部 地域連携室

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL : 0836-88-4515 FAX : 0836-88-3510
E-Mail : tiiki@admin.socu.ac.jp



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

理科教員のためのリカレント・セミナー

『化学』 平成30年 12月15日



山陽小野田市立山口東京理科大学では、中学校・高等学校の教員向けにリカレント・セミナーを開催しております。

本年度は「化学」をテーマに取り上げます。教員の皆様は、工学部 応用化学科の教授による講義と実験を通して、授業で取りあつかう理科・サイエンスが大学や企業での研究・開発と深いかわりを持っていることを体感していただけます。

本セミナーが、教員皆様の授業づくりの発展に貢献できると幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

日 付：平成30年12月15日（土）

開 場：9：30～

時 間：10：00～16：00

会 場：山陽小野田市立山口東京理科大学

対 象：高等学校・中学校の理科教員

（小学校教員の方もご参加いただけます）

定 員：30名

申 込：裏面をご覧ください

受講料：無料

主催：山陽小野田市立山口東京理科大学

後援：山口県教育委員会

理科教員のためのリカレント・セミナー（化学）

平成30年12月15日（土） 10:00～16:00

Recurrent seminar for Science Teacher

当日のプログラム

9:30 - 10:00

開場（5号館 5104教室）・受付開始

10:00 - 10:10

地域連携センター長 挨拶

10:10 - 11:10

化学講義（5号館 5104教室）



石川 敏弘

山陽小野田市立山口東京理科大学
工学部 応用化学科 教授・副学長（研究推進）

大阪市立大学・大学院工学研究科博士前期課程修了。大阪府立大学にて工学博士号を取得。山口大学工学部客員教授、宇部興産株式会社研究開発本部フェロー等を経て、山口東京理科大学工学部教授に就任し、現在に至る。

世界一をめざす 化学材料について

筆者が当大学に移る前の36年間、企業にて行った研究開発の中で創出した「世界一の特性を有する材料」を例にとり、開発のきっかけから成功に至る過程で、成功を決定付けた幾つかの出来事についてお話しします。

そこで重要なことは「失敗を恐れず果敢にアタックする研究姿勢」ですが、いくら良い成果が得られたとしても、その研究成果を事業化するまでには多くの障害が立ちはだかります。

筆者の場合は、その障害を乗り越える一つ的手段として、科学雑誌NatureやScienceにその研究成果を掲載し、事業化への推進力と致しましたが、その影響力の大きさや企業内環境の変化等について、筆者自身の苦労話も盛り込んでお話し致します。

11:30 - 13:00

昼食

各自でご用意ください。
学食もご利用いただけます

13:00 - 16:00

化学実験（3号館 化学実験室2）



白石幸英

山陽小野田市立山口東京理科大学
工学部 応用化学科 教授
先進材料研究所 所長

東京理科大学工学部工業化学科卒業・同大学院工学研究科博士課程修了。コニカ株式会社を経て、山口東京理科大学基礎工学部助手に就任。同大学基礎工学部講師、准教授等を経て、同大学工学部教授に就任、現在に至る。

『うがい薬』をつかって、
ウイルスより小さい金コロイドを
作って見よう

「都市鉱山」ということばを御存知でしょうか。平成20年1月に(独)物質・材料研究機構が発表した国内に蓄積されリサイクルの対象となる金属の推定量によると、「金」は約 6,800 トンで世界の現有埋蔵量(42,000 トン)の約16%に相当、同じく「銀」は 60,000 トンで 22%となっています。まさに「都市鉱山」で、今後こうした再資源化技術はその重要性が増すものと思われます。

本日は、金の再資源化技術を簡単な実験で体験してもらいます。うがい薬を用いて金箔を溶解させた後に、還元させ金コロイドを作成します。金コロイドは、生物学や医学、工学分野（バイオイメージングや診断用途、フォトリソグラフィ）で広く応用されており、今後も新たな応用が期待されています。

16:00

終了